

	団体名	特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター
	代表者名	理事長 岡田泰子
	所在地	千葉市中央区新千葉 2-17-6 サンコート新千葉 102号
1 事業名	子どもと舞台芸術との出会いを拡げることによりチャレンジする団体の組織力の強化を図るための研究・実践・検証・支援事業	
2 事業費	1,135,777円 (このうち県の支出 500,000円)	
3 事業期間	平成21年8月1日～平成22年2月28日	
4 事業の目的	子どもと舞台芸術との出会いの場の拡大とコーディネートの強化をはかる。そのための手法を研究、実践、検証する。 ・人材強化支援と財政支援ファンドの研究 ・「子どもの舞台芸術体験広場」を実施し、検証する	
5 事業概要	子どもと舞台芸術の出会いを拡げるための手法を具体化し、実施・検証する。 ・地域の子どもの舞台芸術にかかわる団体、創造団体、文化行政と学習・交流会を3回開催 ・ファンドの2009年度試行を研究し、2010年度本格スタートさせる ・子どもたちにとって舞台芸術の出会いのひとつとして、「子どもの舞台芸術体験広場」を県内2ヶ所(千葉市・船橋市)で実施	
6 事業経過	<p>1.子どもと舞台芸術との出会いの力強い発展に果敢にチャレンジする人材強化支援と財政支援の研究</p> <p>(1)コーディネート力強化をはかる人材強化の学習と交流 コーディネートにはマネジメント力のほかに、使命感や実現への強い思い、モチベーションの維持が求められる。団体のリーダーたちに弱まっている使命感、こだわり、モチベーションがもてるような学習・交流会を開催した。</p> <p>第1回 8月24日 船橋市西部公民館 「子どもと舞台芸術との出会いの場をつくるためのチャレンジ」 ～地域の課題を解決する使命感をもち続けるための交流～</p> <p>第2回 12月4日 市川市文化会館会議室 「子どもの文化権を保障するために子どもの生活圏で文化のネットワーク」</p> <p>第3回 2月22日 千葉市民会館 「子ども文化地域コーディネーターの仕事の視点からふりかえって」 対象:県内で子どもと舞台芸術との出会いの場をつくっているNPO関係者</p> <p>(2)子どもと舞台芸術との出会いの機会を県内中に広げることを応援するファンドの研究 ファンド研究会3回 子ども劇場が40年に及んで活動の中心を担い、かかわってきた数は相当数存在する。これらの人たちから次の世代を担う人たちへの応援を寄付というかたちにして基金をつくり、子どもと舞台芸術との出会いを財政的に支援するためのファンドのあり方を研究した。</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・2010年度ファンドを担うプロジェクトのたちあげ ・2009年度、実験試行と検証 ・寄付集めの対象と目標金額 ・使いやすい助成金にするための募集要項の内容検討 ・信頼性を得ていくために必要なこと <p>協力:まち・アート夢虫、人形劇団ひばりあむ</p> <p>2.子どもと舞台芸術との出会いの場を拡大させるために、「子どもの舞台芸術体験広場」の可能性と検証</p> <p>(1)「子どもの舞台芸術体験広場」の開催 県内2箇所で実施</p> <p>船橋会場 2009年10月31日～11月1日 豊富地区竹林・北部公民館・西部公民館</p> <p>千葉会場 2009年11月23日 千葉市きぼーる 子ども交流館</p> <p>内容:影絵、チャンバラ、ミュージカル、クラウニング、楽器づくり・演奏、マジック ガムラン&ジャワ踊など 各30人規模</p> <p>協力:影絵劇団かかし座、劇団潮流、ミュージカル劇団イツフォーリーズ、蒼い企画、(特)青少年音楽芸能協会、ともしび、GIGA、ファミリー岡田兄弟、かのん から講師を招いた。開催する文化施設(千葉市きぼーる子ども交流館)、創造団体と連携することができた。</p> <p>対象:幼児から小学生</p> <p>実行委員会発足、4回開催した。</p> <p>構成/船橋市・千葉市・四街道市の子どもNPO7団体と子ども劇場千葉県センター</p> <p>(2)子どもと舞台芸術との出会いの場を拡大させる「子どもの舞台芸術体験広場」の検証</p> <p>2010年2月22日 千葉市民会館</p> <p>内容:子どもと舞台芸術体験広場を今後県内各地に普及させるために、子ども文化地域コーディネーターを位置づけ、対象とする子どもの年齢、企画内容、会場条件、講師選定、連携対象、財源確保などを検証した。</p> <p>対象:県内で子どもと舞台芸術との出会いの場を作るNPO関係者</p>
<p>7 事業成果</p>	<p>具体的な成果</p> <p>(1)地域の子どもの舞台芸術にかかわる団体、創造団体と学習・交流会を3回開催した。参加18団体 のべ163人</p> <p>学習・交流会を3回実施することでリーダー自身がそれぞれに語ることによって組織内の課題に気付き、地域の連携を図りながら活動を進めることがこれから地域の中でやるべきこととして展望が持てた。リーダーとしての立場に踏み込んだ学習会となり、リーダーのモチベーションは、確実にあがった。</p> <p>(2)ファンドの2009年度試行を研究し、2010年度本格スタートにむけて</p>

	<p>中心メンバーがファンドについて研修を受け、実験試行では、「子どもアートステージファンド」としてリーフレットができあがった。</p> <p>(3)「子どもと舞台芸術の出会い」を拡げるための手法を具体的にし、実施・検証した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと舞台芸術との出会いは、子どもの成長発達に欠かせないものであり、豊かな感性、豊かな人間力に影響を及ぼすものである。「子どもの舞台芸術体験広場」を行う会場は、子どもの生活圏にある身近な場所が望ましい。舞台芸術活動を行っている方を講師に招きホール公演とは全く内容や手法が異なるミュージカルや、影絵、チャンバラ、ミュージカル、クラウニング、マジック、ガムラン&ジャワ踊り、楽器づくり演奏などを通して、舞台芸術のおもしろさを体験する、鑑賞とは異なる新しい出会いの場の可能性をリーダーたちが確信することができた。 ・千葉県では、きぼーる子ども交流館が千葉市内の子どもにとって身近な施設である。「子どもの舞台芸術体験広場」を県内でのひろがりにつながるよう、子どもの文化地域コーディネーターの役割、当日スタッフや連携のあり方等について問題提起をし、認識を深めた。 ・参加者 小学生のべ 573 人
<p>8 直面した課題と今後の展開</p>	<p>直面した課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たなチャレンジにとりくむリーダーたちが事例に学び、意見交換する中で確信や勇気を持てるようになったが、子どもの鑑賞を目的化しているリーダーが「地域の全ての子どもたちを視野に入れた課題解決をはかる鑑賞」へと意識の転換をしていくことを学習・交流したが、「課題解決を図る鑑賞」とすることによって、地域の中での連携や協力関係づくりでは新たに人材や人手が必要になりそのことを保障する集団体制が十分にとれないため、推進力への迷いがでてきた。 ・文化分野での既存のネットワークが地域の中で作られているのが少ないために手をつなぐ相手がみつけれなかった。 ・地域の課題解決を図る上で、関係行政の実行委員会への参加を望んだが、行政課題を持っていても出席の回答は得られなかった。 <p>平成22年度以降の事業展開</p> <p>子どもの舞台芸術体験広場実施の継続。子どもの成長発達にむすびつくプログラムづくり、子どもの日常性の中にどのように広げていけばよいのかの研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども文化地域コーディネーターのスキルアップのために「子ども文化地域コーディネーター養成講座」を開催する。 ・子どもアートステージファンドでの寄附金獲得のための効果的な情報発信や体制づくり。

<p>9 補助金事業の感想等</p>	<p>補助金を受けてこの事業ができましたこと、本当にありがとうございました。新規の事業を立ち上げる際に、このような補助金は大きな力となり、必要なものであると実感しています。また、ネットワークによって課題を解決することも自分たちの今後の力となりました。</p> <p>今後も継続していただけることを願います。</p>
--------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



<子どもの舞台芸術体験広場/影絵あそび>



<子どもの舞台芸術体験広場/うたえバンパンのミュージカル>